

2023年10月3日

株式会社三菱UFJフィナンシャル・グループ
株式会社三菱UFJ銀行

不動産メザニンデットファンドへの出資について

株式会社三菱UFJフィナンシャル・グループ（代表執行役社長 亀澤 宏規、以下MUFG）の連結子会社である株式会社三菱UFJ銀行（取締役頭取執行役員 半沢 淳一、以下当行）は、今般、中期経営計画に掲げる成長戦略のうち、経営課題解決型アプローチの一つである不動産リスクテイク強化を推進することを目的として、「M&Dメザニンデット1投資事業有限責任組合（以下本ファンド）」を設立し、出資いたしました。

本ファンドは、三菱商事株式会社（代表取締役社長 中西 勝也）100%子会社であるダイヤモンド・リアルティ・マネジメント株式会社（代表取締役社長 石綿 恒）がファンド運営を行い、当行を含む複数の機関投資家からの出資により設立いたしました。

当行は、これまでお客さまに対する経営課題解決型アプローチを日々深化させていく中、リスクテイク・ソリューション提供力の強化を図ってまいりました。本ファンドは、リスクテイク強化のうち、不動産ノンリコースローンビジネスにおけるファイナンス競争力の強化を図ることを目的に設立したものです。

本ファンドを通じた資金供給により、MUFGにおける不動産ビジネスの強化を図り、グループ全体での課題解決に取り組んでまいります。

【本ファンドの概要】

ファンド名称	M&Dメザニンデットファンド1投資事業有限責任組合
運用者	ダイヤモンド・リアルティ・マネジメント株式会社
出資金総額	110億円
ファンド期間	8年
出資者	当行、国内金融機関などの適格機関投資家
投資対象	以下の不動産などを裏付資産とするメザニン債権 ・オフィス、住宅、物流施設、商業施設、ホテル、データセンター産業施設など、底地及びそれらの複合施設、付帯施設 ・上記の開発用地及び開発中の建物

以上